



## ノーテレビ・ノーゲームデーの取り組み

11月に豊間根地区全体（小学校・中学校・幼稚園・保育園）で取り組んだ『ノーテレビ・ノーゲームデー』、そしてアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

初めての試みでしたが、たくさんのご家庭に実施して頂くことができ、とても嬉しく感じております。

取り組みの結果は、以下の通りです。

|                       | 実施できた |     | 実施できなかった |     |
|-----------------------|-------|-----|----------|-----|
| 11月22日<br>(一斉取り組み日)   | 60人   | 81% | 14人      | 19% |
| 23日～25日<br>(家庭別取り組み日) | 54人   | 73% | 20人      | 27% |

### たくさんの感想が寄せられましたので、紹介します

- 子ども達も、いつもよりも遊びに熱中できていました。
- 静かな所で子どもとゆっくり遊んだり、話をしたりすることができました。
- 家族とのふれ合いも、いつもより多かったです。
- 大人の方が、テレビに依存していることが分かりました。たまにはテレビに頼らない育児もいいですね。
- テレビを見なくても、おもちゃで遊んだり本を読んだりしていました。これからもテレビを見る時間をなるべく短くしていけたらいいなと思いました。
- 普段はテレビをつけっぱなしにしている家庭なので、多少不安はあったのですが、意外と我が子は平気で遊びに熱中していました。子どもを見てあげる時間も増え、就寝もいつもより早かったです。自分たちがいかに依存していたかが分かりました。こういう日も悪くないなと思いました。
- 普段いかにテレビを見て、子どもとの時間が足りないのか実感することができました。
- テレビを見ない時間は、親子間・兄弟間での会話も増えました。

- 一緒にトランプやオセロなどをしてみて、楽しかったなと思いました。月に2～3回は、ノーテレビデーいいかもしれませんね。
- 意外と大丈夫なものだと感じました。こういう日をみんなで決めてやりたいです。
- テレビがついていないと、子ども達の会話も聞こえてきたり、たくさん話も増えました。
- テレビが見られないので、いつもより早寝・早起きが出来ました。
- 気が散る事なく、親の話も聞いてくれました。
- 親が意識をして、子どもが遊んでいるときはテレビをつけないようにしようと思いました。
- テレビがないことで、会話をする事、コミュニケーションを取る事の大切さを改めて感じる事ができました。

### 一方、こんな感想もありました

- 家族が多いとノーテレビデーは難しい。別の部屋にテレビがあると、家族が見てしまうので、理解してもらう必要がある。
- テレビを見たがるのでごまかすのが大変でした。それだけ普段テレビを見ているのだと感じました。
- テレビをつけないで過ごす事がないので大変でした。
- ニュースなど見れなかったのが辛かったです。
- 曾おじいさんがテレビをつけてしまい、一緒に見てしまった。
- 家族の理解がえられず、実施できなかった。
- 子ども自身がノーテレビデーの意味がわからず、いつもと同じ生活になってしまった。
- 新聞をとっていない家庭は、ニュースが見られず困ってしまう。
- テレビを見る事があまりにも日常化しすぎていて、取り組みなかった。

この結果は、次回の豊間根中学校区運動実践協議会の中で取り上げていきたいと思います。ご協力頂きありがとうございました。

